

平成 27 年度岡山 ESD 推進協議会
岡山 ESD プロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 カフェで語る ESD スピンオフ企画「ネパールに見る支援のあり方～ネパール地震の前と今の様子」

団体名 ダフェプロジェクト 担当者名 江見優子

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

<p>1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10 月 17 日（土）18:00～20:00 カフェケニア 一般 18 名 ネパール支援活動報告およびネパール映画の鑑賞会 ・ 10 月 21 日（水）18:00～20:00 インドダイニングカフェマタ 11 名 ネパール支援活動報告およびネパール最大のおまつりダサインの体験
<p>2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な社会づくりに向け、市民の理解を進め、その実現のための連携・協働を推進する。 ・ 若者をはじめとした人材を育てる取組を推進する。 ・ 多文化共生への啓発をうながす。
<p>3. 取組の成果（参加者の変化、感想など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント時だけの繋がりだけではなく日常的に繋がり続けるためのネットワーク作りを一步前進させることができた。 ・ ネパール映画を鑑賞したり、ネパール料理を試食することでネパールの文化を学ぶことができたとの参加者の声があった。 ・ 学生を巻き込んだ活動へのシフトは今後一考の余地あり。
<p>4. 今後の課題と展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの立場でネパールに深くかかわってきたけれども、今まで繋がりがなかった人たちが、今回のイベントを機会に連携し、今後一緒に活動をしていくことで意見を一致させることができたのがよかった。 ・ 学生の興味の対象をつかむことができなかった。イベントへの参加という一時的なものに終わってしまった。それぞれの求めているものへのすり合わせがうまくいかなかった。 ・ 公民館や学校などへ出向いて国際理解講座などを開き、「グローバル&ローカル」に目を向けてもらうための啓発をしたい。また、他国と日本という図式からさらに広げて、国内の地域格差やそこから生じる問題の解決も探りたい。 <p>引き続き各種イベントに参加し、多文化共生への啓発をうながす。</p>